

5 夜間の照明

方法(例)	管理組合の備え	各家庭の備え
夜間の照明を確保する	■	■
電源を確保する	■	■

(1) 夜間の照明を確保する

○夜間作業の安全確保に備えましょう。

- ・懐中電灯、ヘッドライト、ランタン、コードリール 等

(2) 電源を確保する

○停電に備えて、電池や充電器の備蓄を行いましょう。

○生活場所に自家発電機を備蓄しましょう。予備燃料についても備蓄する必要があります。防災訓練時に使用するなど、自家発電機は定期的にメンテナンスを行いましょう。

- ・自家発電機、予備の電池 等

D 日常の自主防災活動

いざというときに、「自助」「共助」でマンションでの生活を維持するためには、日常の活動やコミュニケーションが重要です。できるだけ日常の自主防災活動などへ参加するようにしましょう。

1 防災訓練

方法(例)	管理組合の備え	各家庭の備え
防災訓練を実施し、参加する	■	■
防災に関する啓発活動を継続的に行う	■	■

(1) 防災訓練を実施し、参加する

○防災訓練を実施し、参加する居住者を増やしていきましょう。参加を促進するために、年に1回以上の消防訓練と合わせて実施する方法もあります。

○防災訓練では、以下について取り組みましょう。

- ・マンションからの避難に備えて、実際に避難してみる。
- ・津波による浸水想定がある場合は、津波避難訓練も実施する。
- ・備え付けの防災設備・備蓄物資の取扱説明を適切に行い、入居者自身が取扱方法を把握する。
- ・防災計画（防災アクションプラン）の内容を確認し、理解を深める。
- ・防災訓練に合わせて居住者名簿を更新する。



○AEDを設置している場合、居住者がAEDの使用方法や応急手当の方法等を把握できるようにしましょう。また、最寄りの消防署にAEDの使用方法を含めた救命救急講習を依頼することができます。防災訓練等の機会を活用し、講習を実施しましょう。

(2) 防災に関する啓発活動を継続的に行う

○防災計画(防災力向上アクションプラン)について居住者の理解を深め、日常の備えにつながるように、防災訓練の他にマンション行事の一環で防災セミナーを実施するなど、防災に関する啓発活動を継続的に行いましょう。

2 地域連携

方法(例)	管理組合の備え	各家庭の備え
地域の行事に積極的に参加する	■	■

○マンション単独の防災活動には限界があることから、周辺地域と連携して物資や人材を補い合うなどの対策が望まれます。

○そのため、地域の祭りやイベント、防災訓練などの日程を積極的に入手し、参加するよう努め、地域との交流を深め、情報交換に努めましょう。

参考

周辺地域との連携を図り、マンションの防災力向上を図りましょう

○東日本大震災で被害を受けたマンションでは、周辺地域とのつながり(地域連携)が被災生活の支援につながった事例がありました。

- ・災害以前から地域連携を図っていたことから、周辺自治会や事業所からマンションに対して非常食の差し入れがありました。
- ・小学校の避難所にマンションのボランティアを派遣することで、地域の一員としての役割を果たすことができました。延べ600人が避難所でのボランティアに参加しました。
- ・小学校の避難所に派遣していたボランティアは、避難所からの物資支給の情報などを持ち帰ってもらい、情報の伝達役としても機能しました。

(「東日本大震災の被災地マンションヒアリングより」(平成 24 年度実施))

○その他にも、災害時に居住者同士や周辺地域との交流を図った事例があります。

東日本大震災における自主防災組織の活動事例集

検索

総務省消防庁 (http://www.fdma.go.jp/html/life/jireisyu/jireisyu_index.pdf)